

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2016年9月9日から2026年9月25日まで
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 グローバルA   エクイティ・マザーファンド 世界の上市株式
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■世界の上場株式の中から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。</li> <li>■マザーファンドの運用にあたっては、アリアンツ・グローバル・インベスターズ U.S. LLC に運用の指図に関する権限の一部を委託します。</li> <li>■実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
組入制限	<p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への実質投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。</li> </ul> <p>グローバルA   エクイティ・マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■株式への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>
分配方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■年1回（原則として毎年9月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配を行います。</li> <li>■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。</li> <li>■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。</li> </ul> <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

# グローバルAIファンド

## 【運用報告書(全体版)】

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

第 4 期

決算日 2020年9月25日

### 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、実質的に世界の株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
(設定日) 2016年9月9日	円 10,000	円 -	% -	% -	% -	百万円 90,091
1期(2017年9月25日)	13,791	100	38.9	95.7	-	287,863
2期(2018年9月25日)	15,992	150	17.0	96.6	-	303,343
3期(2019年9月25日)	15,081	0	△ 5.7	96.2	-	202,098
4期(2020年9月25日)	23,400	200	56.5	95.0	1.7	233,587

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
	騰落率			
(期首) 2019年9月25日	円 15,081	% -	% 96.2	% -
9月末	14,987	△ 0.6	96.0	-
10月末	16,114	6.8	96.1	-
11月末	17,200	14.1	97.6	-
12月末	17,137	13.6	97.8	-
2020年1月末	17,901	18.7	94.0	-
2月末	16,633	10.3	94.2	-
3月末	14,720	△ 2.4	96.8	-
4月末	17,124	13.5	96.8	-
5月末	18,880	25.2	97.6	-
6月末	20,845	38.2	94.9	2.0
7月末	22,961	52.3	95.2	1.8
8月末	25,201	67.1	95.5	1.5
(期末) 2020年9月25日	23,600	56.5	95.0	1.7

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	15,081円
期末	23,600円 (分配金200円(税引前)込み)
騰落率	+56.5% (分配金再投資ベース)

### 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

**基準価額の主な変動要因(2019年9月26日から2020年9月25日まで)**

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、世界的な上場株式の中からA I (人工知能)の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

**上昇要因**

- 3月から4月にかけて、F R B (米連邦準備制度理事会)をはじめ、世界各国の中央銀行が大胆な金融緩和政策を実施したことや米国など各国政府が大規模な財政出動に動いたこと
- 5月から6月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウン(都市封鎖)が徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったこと

**組入れファンドの状況**

組入れファンド	投資資産	騰落率	期末組入比率
グローバルA I エクイティ・マザーファンド	内外株式	+60.1%	99.3%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

## 投資環境について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当期の世界の株式市場は上昇、特に情報技術関連は大幅に上昇しました。為替市場は、当期を通じてみると円は対米ドルで円高、対ユーロで円安となりました。

### 株式市場

期初から株式市場は米中貿易協議の進展などを好感し堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染が世界各国で拡大し、世界経済および企業業績に及ぼす影響への懸念から、2020年2月中旬以降、大きく下落しました。

4月以降、主要各国が金融緩和や財政出動等の大規模な景気対策を発表したことから、急反発しました。5月以降、感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウンが徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったことから続伸しました。在宅勤務やオンラインショッピングの増加を受けて、特に米国テクノロジー関連大型株式が上昇をけん引しました。

ただし、9月に入るとハイテク株を中心とした夏場の急騰に対する警戒感から調整売りが入り、やや下落しました。

当期の市場の動きをMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(米ドルベース)で見ると、期首に比べて7.75%上昇しました。また、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(情報技術)(米ドルベース)で見ると、期首に比べて40.19%上昇しました。

### 為替市場

期初から米中貿易協議の進展などを好感し、円安が進行しましたが、新型コロナウイルスへの懸念からリスク回避姿勢が強まり、2月下旬から3月上旬にかけて円高が大きく進みました。直後には米ドル不足から、中旬にかけて急速に円安に振れましたが、各国中央銀行による大量の米ドル資金の供給により円安が一巡し、4月に入ると米ドル安・円高が進みました。その後は一進一退となり、夏場以降は再び緩やかな円高が期末まで進行しました。

ユーロ・円は、期初から1月下旬にかけて米ドル高につれてユーロ高が進みました。その後は、欧州で感染が拡大する中、5月上旬までユーロ安となりました。5月中旬以降は欧州復興基金設立期待(7月に基金の設立が合意されました)などを背景に期末までユーロが上昇する展開となりました。

当期の米ドル・円は期首107円11銭から期末は105円56銭と1円55銭の米ドル安・円高となり、ユーロ・円は期首117円91銭から期末は123円18銭と5円27銭のユーロ高・円安となりました。

### ポートフォリオについて(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

#### 当ファンド

「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の組入れを高位に保ちました。

#### グローバルA I エクイティ・マザーファンド

10月より、クラウドベースのビデオ会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズの組入れを開始しました。同社は、システムの利便性やアクセスのし易さ、通信面でのクオリティの高さなどの利点に加え、A I を活用した差別化されたサービスを提供しており、顧客を拡大しています。足元では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により在宅勤務が増える中で、同社のビデオ会議システムの利用が大きく増えています。

また、電波塔や基地局、光ファイバー網など、通信インフラの運営やリースを行う不動産投資会社のクラウン・キャッスル・インターナショナルの組入れも開始しました。同社は、様々なデータ接続、ワイヤレスサービス、A I エッジコンピューティング(カメラや車などエッジ(端)に搭載されているA I)、IoTなどを可能にする重要な通信インフラを提供しており、安定した利益成長が今後も継続できるとみています。

12月には、センサー、コネクタ、半導体製品などのメーカーであるTE コネクティビティを全売却しました。自動車業界が大きい

な変革を迎える中、同社の自動車向けの高いエクスポージャーはリスクが高まっていると考え、全売却しました。

4月より、世界有数のエンターテイメント会社であるウォルト・ディズニーの組入れを開始しました。同社は、顧客の体験や満足度を向上させるため、テーマパークから映画、ビデオ制作等でA I を活用しています。新型コロナウイルスの影響で株価が下落する中、長期的には魅力的な水準であると判断し、組み入れました。

4月に、クラウドベースの企業向けビデオ会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズを全売却しました。テレワークの増加を受け、同社ビデオ会議システムへの需要が急増しましたが、セキュリティ面やユーザーの急増に伴うコストの増加により収益性に対する懸念も出てきたことから、株価が急騰した局面をとらえて、いったん利益確定のために全売却しました。

5月より、エッジ・クラウド・コンピューティングのプラットフォームを運営するファストリーの組入れを開始しました。同社のプラットフォームは、エンドユーザーに限りなく近い、インターネットのエッジでアプリケーションを提供し、高速で安全かつ拡張性の高いデジタル・サービスをサポートしています。A I やIoT、デジタル化の進行で同社プラットフォームへの利用が拡大し、同社の収益およびマージンが拡大すると見込んで

います。

**ベンチマークとの差異について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)**

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

**分配金について(2019年9月26日から2020年9月25日まで)**

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第4期
当期分配金	200
(対基準価額比率)	(0.847%)
当期の収益	200
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	13,399

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、200円といたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未滿を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「グローバルA | エクイティ・マザーファンド」の組入れを高位に保ちます。

### グローバルA | エクイティ・マザーファンド

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する可能性は今も残っているものの、治療方法やワクチン開発に進捗が見られ、景気は正常化へ向けて回復が徐々に進んでいると考えてい

ます。当戦略は、感染拡大を受けて新しい働き方や消費の形態が具体化してくる中で、新たな市場を見出してソリューションを提供している多くの成長企業にエクスポージャーを取っています。また、過去数か月の調整の中で、バリュエーション(投資価値評価)が魅力的な水準になっている様々な業種において、新たなオポチュニティー(投資機会)としていくつかの銘柄を組み入れました。今後時間の経過と共に、株式市場のパフォーマンスが良好なものとなり、ポートフォリオの新たな

ポジションのいくつかが利益を上げることが期待しています。

長期的にみると、私たちはA Iの進歩と開発によってもたらされた大規模な破壊的変化の、非常に初期の段階にあると引き続き考えています。これらの変化は、それぞれの産業においてA Iを活用することが出来る企業に大きな成長を促進し、ディスラプション(創

造的破壊)を引き起こすと考えています。A Iを実現する技術を持ち、A Iを積極的に取り入れることで、今後様々な場面で有利なポジションを獲得し、市場を牽引する企業となる可能性を持つ銘柄を選別して投資を行ってまいります。

(2020年10月1日現在)

### 3 お知らせ

#### 約款変更について

- 「グローバルA Iファンド(為替ヘッジあり)」と合わせて8,000億円までとなっていた信託金限度額を「グローバルA Iファンド(為替ヘッジあり)」、「グローバルA Iファンド(予想分配金提示型)」および「グローバルA Iファンド(為替ヘッジあり予想分配金提示型)」との合計で8,000億円までとするための所要の変更を行いました。(適用日：2019年12月20日)



■ 1万口当たりの費用明細(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	352円	1.925%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.103	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	3	0.019	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回国・資産の移転等に要する費用 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	374	2.047	

期中の平均基準価額は18,308円です。

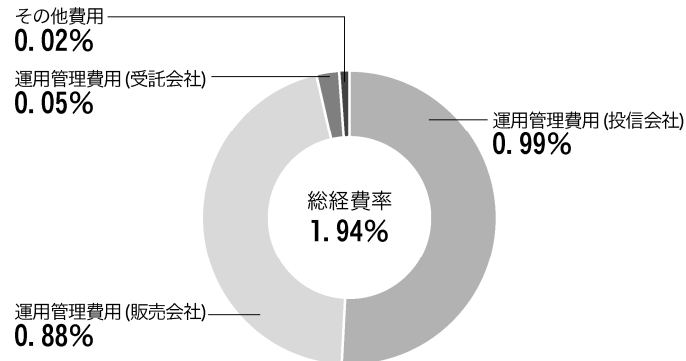
※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

参考情報 総経費率 (年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.94%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
グローバルA I エクイティ・マザーファンド	7,168,178	14,962,696	41,740,180	83,294,377

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項 目	当 期
	グローバルA I エクイティ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	559,123,733千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	228,899,786千円
(c) 売買高比率 ( a ) / ( b )	2.44

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## グローバルA I ファンド

### ■ 組入れ資産の明細 (2020年9月25日現在)

親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
グローバルA I エクイティ・マザーファンド	123,688,206	89,116,204	231,862,541

※グローバルA I エクイティ・マザーファンドの期末の受益権総口数は109,480,233千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2020年9月25日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバルA I エクイティ・マザーファンド	231,862,541	97.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,231,543	2.6
投 資 信 託 財 産 総 額	238,094,084	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※グローバルA I エクイティ・マザーファンドにおいて、期末における外貨建資産(280,106,209千円)の投資信託財産総額(291,135,462千円)に対する比率は96.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=105.56円、1ユーロ=123.18円、100韓国ウォン=9.04円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年9月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	238,094,084,531円
コール・ローン等	2,221,514,991
グローバルA I エクイティ・マザーファンド(評価額)	231,862,541,359
未 収 入 金	4,010,028,181
(B) 負 債	4,507,020,132
未 払 収 益 分 配 金	1,996,478,419
未 払 解 約 金	486,532,144
未 払 信 託 報 酬	2,017,036,334
未 払 利 息	6,390
そ の 他 未 払 費 用	6,966,845
(C) 純資産総額(A - B)	233,587,064,399
元 本	99,823,920,988
次 期 繰 越 損 益 金	133,763,143,411
(D) 受益権総口数	99,823,920,988口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	23,400円

※当期における期首元本額134,007,190,641円、期中追加設定元本額37,191,346,228円、期中一部解約元本額71,374,615,881円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2019年9月26日 至2020年9月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,218,204円
そ の 他 収 益 金	4,443,552
支 払 利 息	△ 1,225,348
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	74,508,120,765
売 買 益	97,274,777,641
売 買 損	△ 22,766,656,876
(C) 信 託 報 酬 等	△ 3,926,056,237
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	70,585,282,732
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	13,601,758,831
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	51,572,580,267
( 配 当 等 相 当 額 )	( 23,845,104,248)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 27,727,476,019)
(G) 計 (D + E + F)	135,759,621,830
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,996,478,419
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	133,763,143,411
追 加 信 託 差 損 益 金	51,572,580,267
( 配 当 等 相 当 額 )	( 23,869,573,498)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 27,703,006,769)
分 配 準 備 積 立 金	82,190,563,144

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドにおいて「グローバルA I エクイティ・マザーファンド」の運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用のうち、当ファンドに相当する費用は1,217,223,534円です。(2019年9月26日～2020年9月25日、当社計算値)

※期末における、費用控除後の配当等収益(1,041,153,369円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(64,053,937,527円)、信託約款に規定される収益調整金(51,572,580,267円)および分配準備積立金(19,091,950,667円)より分配可能額は135,759,621,830円(1万口当たり13,599円)となり、うち1,996,478,419円(1万口当たり200円(税引前))を分配金額としております。

■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 (税 引 前)	当 期
	200円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

# グローバルAIエクイティ・マザーファンド

第4期（2019年9月26日から2020年9月25日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年9月9日）
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>■主として世界の取引所に上場している株式から、AI（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行います。</li> <li>■外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。</li> <li>■運用の指図に関する権限の一部をアリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.エルエルシーに委託します。</li> </ul>

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		株式組入率 比	投資信託 証券組入率 比	純資産額
	期	中 騰落率			
(設定日) 2016年9月9日	円 10,000	% -	% -	% -	百万円 89,000
1期(2017年9月25日)	14,182	41.8	96.2	-	319,795
2期(2018年9月25日)	16,928	19.4	97.2	-	349,304
3期(2019年9月25日)	16,252	△ 4.0	96.8	-	233,399
4期(2020年9月25日)	26,018	60.1	95.7	1.7	284,849

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		株式組入率 比	投資信託 証券組入率 比
	騰落率	騰落率		
(期首) 2019年9月25日	円 16,252	% -	% 96.8	% -
9月末	16,154	△ 0.6	96.7	-
10月末	17,405	7.1	96.6	-
11月末	18,612	14.5	98.0	-
12月末	18,572	14.3	98.0	-
2020年1月末	19,434	19.6	94.0	-
2月末	18,085	11.3	94.1	-
3月末	16,053	△ 1.2	97.6	-
4月末	18,722	15.2	97.3	-
5月末	20,682	27.3	98.0	-
6月末	22,884	40.8	95.1	2.0
7月末	25,251	55.4	95.4	1.8
8月末	27,765	70.8	95.5	1.5
(期末) 2020年9月25日	26,018	60.1	95.7	1.7

※騰落率は期首比です。

※株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	16,252円
期末	26,018円
騰落率	+60.1%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当ファンドは、世界の上場株式の中からA I（人工知能）の進化、応用により高い成長が期待される企業の株式に投資を行いました。なお、外貨建資産については対円での為替ヘッジは行いませんでした。

#### 上昇要因

- ・ 3月から4月にかけて、FRB（米連邦準備制度理事会）をはじめ、世界各国の中央銀行が大胆な金融緩和政策を実施したことや米国など各国政府が大規模な財政出動に動いたこと
- ・ 5月から6月にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウン（都市封鎖）が徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったこと

### ▶ 投資環境について (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当期の世界の株式市場は上昇、特に情報技術関連は大幅に上昇しました。為替市場は、当期を通じてみると円は対米ドルで円高、対ユーロで円安となりました。

#### 株式市場

期初から株式市場は米中貿易協議の進展などを好感し堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染が世界各国で拡大し、世界経済および企業業績に及ぼす影響への懸念から、2020年2月中旬以降、大きく下落しました。

4月以降、主要各国が金融緩和や財政出動等の大規模な景気対策を発表したことから、急反発しました。5月以降、感染拡大に伴う欧米諸国でのロックダウンが徐々に解除される中、経済活動再開への期待感が高まったことから続伸しました。在宅勤務やオンラインショッピングの増加を受けて、特に米国テクノロジー関連大型株式が上昇をけん引しました。

ただし、9月に入るとハイテク株を中心とした夏場の急騰に対する警戒感から調整売りが入り、やや下落しました。

当期の市場の動きをMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（米ドルベース）でみると、期首に比べて7.75%上昇しました。また、MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス（情報技術）（米ドルベース）でみると、期首に比べて40.19%上昇しました。

#### 為替市場

期初から米中貿易協議の進展などを好感し、円安が進行しましたが、新型コロナウイルスへの懸念からリスク回避姿勢が強まり、2月下旬から3月上旬にかけて円高が大きく進みました。直後には米ドル不足から、中旬にかけて急速に円安に振れましたが、各国中央銀行による大量の米ドル資金の供給により円安が一巡し、4月に入ると米ドル安・円高が進みました。その後は一進一退となり、夏場以降は再び緩やかな円高が期末まで進行しました。

ユーロ・円は、期初から1月下旬にかけて米ドル高につれてユーロ高が進みました。その後は、欧州で感染が拡大する中、5月上旬までユーロ安となりました。5月中旬以降は欧州復興基金設立期待（7月に基金の設立が合意されました）などを背景に期末までユーロが上昇する展開となりました。

当期の米ドル・円は期首107円11銭から期末は105円56銭と1円55銭の米ドル安・円高となり、ユーロ・円は期首117円91銭から期末は123円18銭と5円27銭のユーロ高・円安となりました。

---

### ▶ ポートフォリオについて (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

---

10月より、クラウドベースのビデオ会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズの組入れを開始しました。同社は、システムの利便性やアクセスのし易さ、通信面でのクオリティの高さなどの利点に加え、AIを活用した差別化されたサービスを提供しており、顧客を拡大しています。足元では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により在宅勤務が増える中で、同社のビデオ会議システムの利用が大きく増えています。

また、電波塔や基地局、光ファイバー網など、通信インフラの運営やリースを行う不動産投資会社のクラウン・キャッスル・インターナショナルの組入れも開始しました。同社は、様々なデータ接続、ワイヤレスサービス、AIエッジコンピューティング（カメラや車などエッジ（端）に搭載されているAI）、IoTなどを可能にする重要な通信インフラを提供しており、安定した利益成長が今後も継続できるとみています。

12月には、センサー、コネクタ、半導体製品などのメーカーであるTEコネクティビティを全売却しました。自動車業界が大きな変革を迎える中、同社の自動車向けの高いエクスポージャーはリスクが高まっていると考え、全売却しました。

4月より、世界有数のエンターテイメント会社であるウォルト・ディズニーの組入れを開始しました。同社は、顧客の体験や満足度を向上させるため、テーマパークから映画、ビデオ制作等でAIを活用しています。新型コロナウイルスの影響で株価が下落する中、長期的には魅力的な水準であると判断し、組み入れました。

4月に、クラウドベースの企業向けビデオ会議システムを提供するズーム・ビデオ・コミュニケーションズを全売却しました。テレワークの増加を受け、同社ビデオ会議システムへの需要が急増しましたが、セキュリティ面やユーザーの急増に伴うコストの増加により収益性に対する懸念も出てきたことから、株価が急騰した局面をとらえて、いったん利益確定のために全売却しました。

5月より、エッジ・クラウド・コンピューティングのプラットフォームを運営するファストリーの組入れを開始しました。同社のプラットフォームは、エンドユーザーに限りなく近い、インターネットのエッジでアプリケーションを提供し、高速で安全かつ拡張性の高いデジタル・サービスをサポートしています。AIやIoT、デジタル化の進行で同社プラットフォームへの利用が拡大し、同社の収益およびマージンが拡大すると見込んでいます。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について (2019年9月26日から2020年9月25日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。



## ② 今後の運用方針

新型コロナウイルスの感染が再び拡大する可能性は今も残っているものの、治療方法やワクチン開発に進捗が見られ、景気は正常化へ向けて回復が徐々に進んでいると考えています。当戦略は、感染拡大を受けて新しい働き方や消費の形態が具体化してくる中で、新たな市場を見出してソリューションを提供している多くの成長企業にエクスポージャーを取っています。また、過去数か月の調整の中で、バリュエーション（投資価値評価）が魅力的な水準になっている様々な業種において、新たなオポチュニティー（投資機会）としていくつかの銘柄を組み入れました。今後時間の経過と共に、株式市場のパフォーマンスが良好なものとなり、ポートフォリオの新たなポジションのいくつかが利益を上げることを期待しています。

長期的にみると、私たちはAIの進歩と開発によってもたらされた大規模な破壊的変化の、非常に初期の段階にあると引き続き考えています。これらの変化は、それぞれの産業においてAIを活用することが出来る企業に大きな成長を促進し、ディスラプション（創造的破壊）を引き起こすと考えています。AIを実現する技術を持ち、AIを積極的に取り入れることで、今後様々な場面で有利なポジションを獲得し、市場を牽引する企業となる可能性を持つ銘柄を選別して投資を行ってまいります。

（2020年10月1日現在）

■ 1万口当たりの費用明細(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	21円 (21) (0)	0.103% (0.103) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.000 (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	23	0.115	

期中の平均基準価額は19,968円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

(1) 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 -	千円 -	千株 94	千円 163,655
	外 国	百株 421,652 (5,017)	千米ドル 2,299,684 (△21)	百株 358,271 (2,816)	千米ドル 2,867,742 (40,671)
国	ユ ー ロ ー 圏		千ユーロ		千ユーロ
	フ ラ ン ス	-	-	537	7,607
	韓 国	-	千韓国ウォン -	103	千韓国ウォン 1,538,512

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
外 国	ア メ リ カ	CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP	□ 36,155 (281,620)	千米ドル 6,040 (40,671)	□ 18,990	千米ドル 3,231
	小 計		36,155 (281,620)	6,040 (40,671)	18,990	3,231

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

■ 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	559,123,733千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	228,899,786千円
(c) 売 買 高 比 率 ( a ) / ( b )	2.44

※単位未満は切捨て。

※(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

※外貨建資産については、(a)は各月末(ただし、決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計、(b)は各月末の同仲値で換算した邦貨金額合計の平均です。

■ 利害関係人との取引状況等(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2019年9月26日から2020年9月25日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細(2020年9月25日現在)

(1) 国内株式

銘 柄	期首(前期末)		期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
その他製品(73.9%)	千株	千株		千円
任天堂	66.5	63.7		3,759,574
情報・通信業(26.1%)				
Zホールディングス	2,090.1	1,998.5		1,329,002
合 計	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	2,156	2,062	2,062	5,088,576
	銘柄数<比率>	2	2	<1.8%>

※銘柄柄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

※< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※評価額の単位未満は切捨て。ただし、評価額が単位未満の場合は小数で記載。

グローバルA | エクイティ・マザーファンド

(2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ACTIVISION BLIZZARD INC	6,692	—	—	—	メディア・娯楽
ADOBE INC	325	76	3,594	379,387	ソフトウェア・サービス
AKAMI TECHNOLOGIES	1,232	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	752	—	—	—	小売
ALPHABET INC-CL A	27	33	4,766	503,160	メディア・娯楽
ALTERYX INC - CLASS A	—	1,662	17,716	1,870,101	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	36	107	32,357	3,415,610	小売
ANALOG DEVICES INC	2,857	1,858	20,944	2,210,949	半導体・半導体製造装置
ANTHEM INC	2,712	300	7,480	789,674	ヘルスケア機器・サービス
APPLIED MATERIALS INC	2,951	3,535	20,429	2,156,582	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	283	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BAIDU INC - SPON ADR	419	—	—	—	メディア・娯楽
BROADCOM INC	2,732	2,265	79,851	8,429,078	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYS INC	819	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CLOUDERA INC	2,626	—	—	—	ソフトウェア・サービス
COGNEX CORP	5,835	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COUPA SOFTWARE INC	1,176	1,377	36,433	3,845,908	ソフトウェア・サービス
CRITEO SA-SPON ADR	20,261	13,985	16,363	1,727,319	メディア・娯楽
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	5,532	5,079	68,018	7,180,035	ソフトウェア・サービス
DEERE & CO	4,545	1,386	30,021	3,169,078	資本財
DELTA AIR LINES INC	—	19,867	57,636	6,084,153	運輸
THE WALT DISNEY CO.	—	6,367	77,989	8,232,623	メディア・娯楽
ELECTRONIC ARTS INC	462	—	—	—	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-A	3,548	1,413	35,267	3,722,818	メディア・娯楽
FASTLY INC - CLASS A	—	4,330	37,877	3,998,360	ソフトウェア・サービス
GENERAL ELECTRIC CO	—	92,624	56,130	5,925,104	資本財
GUARDANT HEALTH INC	—	3,481	37,042	3,910,219	ヘルスケア機器・サービス
INTEL CORP	6,861	—	—	—	半導体・半導体製造装置
JPMORGAN CHASE & CO	—	4,664	43,221	4,562,484	銀行
LAM RESEARCH CORP	1,201	675	22,090	2,331,875	半導体・半導体製造装置
LAS VEGAS SANDS CORP	—	12,171	55,881	5,898,818	消費者サービス
LENDINGTREE INC	2,230	976	29,410	3,104,567	各種金融
LIVERAMP HOLDINGS INC	3,960	—	—	—	ソフトウェア・サービス
LIVONGO HEALTH INC	—	599	7,867	830,459	ヘルスケア機器・サービス
MICROSOFT CORP	834	350	7,128	752,528	ソフトウェア・サービス
MICROCHIP TECHNOLOGY INC	6,442	5,410	52,884	5,582,457	半導体・半導体製造装置
MICRON TECHNOLOGY INC	8,456	7,231	35,772	3,776,171	半導体・半導体製造装置
MONGODB INC	2,220	2,181	47,684	5,033,534	ソフトウェア・サービス
NEW RELIC INC	3,289	—	—	—	ソフトウェア・サービス
NUANCE COMMUNICATIONS INC	4,851	18,214	58,650	6,191,132	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	685	523	25,871	2,730,998	半導体・半導体製造装置
OKTA INC	—	1,449	29,649	3,129,821	ソフトウェア・サービス

グローバルA | エクイティ・マザーファンド

銘柄	期首(前期末)		期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ON SEMICONDUCTOR CORP	41,282	22,136	44,958	4,745,789	半導体・半導体製造装置	
OVERSTOCK.COM INC	11,043	10,294	76,734	8,100,120	小売	
OVERSTOCK.COM INC-PREFERRED	-	1,029	6,176	652,006	小売	
PTC INC	3,983	2,545	20,432	2,156,850	ソフトウェア・サービス	
PAGERDUTY INC	6,353	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
PEGASYSTEMS INC	1,861	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
PINTEREST INC- CLASS A	-	4,329	16,664	1,759,138	メディア・娯楽	
PROGRESSIVE CORP	6,364	-	-	-	保険	
REDFIN CORPORATION	9,956	2,366	10,989	1,160,004	不動産	
ROKU INC	10,930	8,840	157,591	16,635,366	メディア・娯楽	
SALESFORCE.COM, INC.	755	2,300	54,643	5,768,181	ソフトウェア・サービス	
SEMTECH CORP	2,524	795	4,000	422,268	半導体・半導体製造装置	
SERVICENOW INC	1,762	400	18,430	1,945,482	ソフトウェア・サービス	
SKYWORKS SOLUTIONS INC	-	1,193	16,141	1,703,899	半導体・半導体製造装置	
SLACK TECHNOLOGIES INC-CL A	14,481	30,299	80,567	8,504,670	ソフトウェア・サービス	
SNAP INC-A	40,034	36,242	88,141	9,304,257	メディア・娯楽	
SPLUNK INC	4,711	5,167	90,894	9,594,818	ソフトウェア・サービス	
SQUARE INC-A	12,248	7,062	107,574	11,355,539	ソフトウェア・サービス	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	2,272	3,917	30,702	3,240,927	半導体・半導体製造装置	
TERADYNE INC	2,549	1,974	15,066	1,590,387	半導体・半導体製造装置	
TESLA INC	2,331	4,226	163,909	17,302,248	自動車・自動車部品	
TRADE DESK INC/THE- CLASS A	1,953	858	38,891	4,105,371	ソフトウェア・サービス	
TRIMBLE INC	7,943	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
TRIPADVISOR INC-W/I	9,794	7,772	14,714	1,553,220	メディア・娯楽	
TWILIO INC-A	7,203	3,470	82,731	8,733,184	ソフトウェア・サービス	
UBER TECHNOLOGIES INC	604	534	1,783	188,289	運輸	
UNITEDHEALTH GROUP INC	867	123	3,618	381,994	ヘルスケア機器・サービス	
WORKDAY INC-CLASS A	1,793	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
XILINX INC	462	-	-	-	半導体・半導体製造装置	
YELP INC	7,524	589	1,133	119,631	メディア・娯楽	
ZENDESK INC	3,136	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
ZOOMINFO TECHNOLOGIES INC-A	-	15,454	53,672	5,665,636	メディア・娯楽	
ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	-	3,125	54,943	5,799,841	ソフトウェア・サービス	
MARWELL TECHNOLOGY GROUP LTD	23,527	20,332	77,061	8,134,612	半導体・半導体製造装置	
APTIV PLC	3,934	558	4,706	496,769	自動車・自動車部品	
TE CONNECTIVITY LTD	2,614	-	-	-	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ASML HOLDINGS NV-NY REG SHS	950	720	25,949	2,739,232	半導体・半導体製造装置	
NXP SEMICONDUCTORS NV	4,342	3,867	46,086	4,864,935	半導体・半導体製造装置	
ROYAL CARIBBEAN CRUISES LTD	-	7,813	46,857	4,946,283	消費者サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	358,966 65	424,548 61	2,511,803 -	265,145,979 <93.1%>	
(ユーロ・・・フランス)			千ユーロ			
DASSAULT SYSTEMES SA	株数・金額	906 906	368 368	5,806 5,806	715,242 715,242	ソフトウェア・サービス
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1 1	1	-	<0.3%>	

## グローバルA | エクイティ・マザーファンド

銘柄		期首(前期末)		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(韓国) LG INNOTEK CO LTD		1,319	1,215	千韓国ウォン 17,922,725	1,620,214	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,319 1	1,215 1	17,922,725 -	1,620,214 <0.6%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	361,191 67	426,132 63	- -	267,481,436 <93.9%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

### (3) 外国投資信託証券

銘柄		期首(前期末)		期末		組入比率
		口数	口数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ) CROWN CASTLE INTERNATIONAL CORP		□ -	□ 298,785	千米ドル 47,028	千円 4,964,355	% 1.7
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	- -	298,785 1	47,028 -	4,964,355 <1.7%>	

※邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

※銘柄コードの変更等、管理上の都合により同一銘柄であっても別銘柄として記載されている場合があります。

## ■ 投資信託財産の構成

(2020年9月25日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株	千円 272,570,013	% 93.6
投資証券	4,964,355	1.7
コール・ローン等、その他	13,601,094	4.7
投資信託財産総額	291,135,462	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※期末における外貨建資産(280,106,209千円)の投資信託財産総額(291,135,462千円)に対する比率は96.2%です。

※外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、1米ドル=105.56円、1ユーロ=123.18円、100韓国ウォン=9.04円です。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年9月25日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	296,935,462,153円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	9,919,229,001
株 式 ( 評 価 額 )	272,570,013,264
投 資 証 券 ( 評 価 額 )	4,964,355,800
未 収 入 金	9,359,715,686
未 収 配 当 金	122,148,402
(B) 負 債	12,085,837,496
未 払 金	6,805,141,735
未 払 解 約 金	5,280,634,058
未 払 利 息	14,242
そ の 他 未 払 費 用	47,461
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	284,849,624,657
元 本	109,480,233,830
次 期 繰 越 損 益 金	175,369,390,827
(D) 受 益 権 総 口 数	109,480,233,830口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	26,018円

※当期における期首元本額143,609,847,123円、期中追加設定元本額15,461,554,298円、期中一部解約元本額49,591,167,591円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

グローバルA I ファンド	89,116,204,689円
グローバルA I ファンド (為替ヘッジあり)	14,396,141,056円
グローバルA I ファンド (予想分配金提示型)	4,514,435,384円
グローバルA I ファンド (為替ヘッジあり予想分配金提示型)	1,453,452,701円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。

## ■ 損益の状況

(自2019年9月26日 至2020年9月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,416,099,912円
受 取 配 当 金	1,411,752,233
受 取 利 息	6,028,783
支 払 利 息	△ 1,681,104
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	114,740,090,394
売 買 益	130,662,069,216
売 買 損	△ 15,921,978,822
(C) 信 託 報 酬 等	△ 29,774,255
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	116,126,416,051
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	89,790,060,461
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	18,846,052,253
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 49,393,137,938
(H) 計 ( D + E + F + G )	175,369,390,827
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	175,369,390,827

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

※当ファンドの運用の指図にかかる権限の一部委託に要する費用は1,433,267,492円です。(2019年9月26日～2020年9月25日、当社計算値)